

多摩区におけるソーシャルデザインセンター（SDC）の理念について

作業グループによる検討 ※5月20日（月）多摩区役所会議室

※5名の委員による作業グループにより、第3回検討会の意見を踏まえ理念の検討を行い、次の内容を理念（案）として取りまとめた。

みんなが認め合い、力を合わせてみんなが幸せなまちをつくる

多様な主体と多世代が支え合い、多様な資源を活用し、区民主体の持続可能なまちづくり

※作業グループによる取りまとめのポイント

- ・SDCの理念は区民の言葉で作り上げる。
- ・キーワードを詰め込みすぎると分かりにくくなる。
- ・検討会で出された意見を包含した内容とする。
- ・子どもなど誰が聞いても分かる言葉とし、それを説明する言葉は別に作る。
- ・若い人たちにとっても自分たちの問題、自分達も主役と思える内容とする。
- ・つながりたくない人もいるので、「認め合う」という言葉がよい。
- ・「住みやすいまち」でなく、「幸せなまち」とすることで住民だけでなく、他所から来る人も対象にすることができる。
- ・自走を目指すため、「区民主体」という文言を入れる。「区民」には住んでいる人の他、区内で活動する人など区に関わっている人を含む。
- ・外国籍の方も多いので、理念が決まったら英訳をつけるとよいのでは。

【参考：第3回検討会までに出された意見】

多摩区におけるSDCの理念（こうなったらいいなと思う10年後の地域の姿）について

- 1 多摩区の魅力が共有されるまち
- 2 多世代がつながり交流が盛んになるまち（◎）
- 3 SDGsが少しでも達成できるまち
- 4 バラバラがつながる
- 5 住みやすいまちになる（◎）
- 6 他地域から多摩区に引っ越して来たくなるまち（◎）
- 7 健康長寿のまち（◎）
- 8 多様な主体と多世代がつながる支え合いのまち
- 9 多摩区民のパワーを活かし育てる
- 10 子どもの笑い声が聞こえる街、多摩区（◎）
- 11 ここいい！ココチイ！たま「ゆりかごからエンディングまで安心安全に暮らせるまち」
- 12 多摩区を全国初の交通フリー（無料で区内を移動できる）地域にする
- 13 ①自ら必要な資源を獲得し、②結果を出す、コミュニティ活動をする
- 14 若い世代が戻ってきたいまち（◎）
- 15 仕事やスキルでつながるまち
- 16 社会的マイノリティが安心して住めるまち

※◎は第3回検討会で得票の多かった項目